

水ぼうそう（水痘） Sep 7th 2000

1. どうやってうつるのか。

水ぼうそうは呼吸器を介してもうつり（くしゃみ、咳など）、皮膚の接触を介してもうつる。（帯状疱疹の水疱もウイルスを含んでいるが、水ぼうそうに比べると感染力は低い。もし感染した場合には水ぼうそうになる。帯状疱疹の際に呼吸器を介しての感染があるかどうかはわかっていない。）

発疹が出てくる 2 日前から発疹後 5 日間は感染力がある。

したがって発疹から 6 日目で学校へ登校可となる。

2. 潜伏期は？

潜伏期は 2 週間である。生後 1 か月は感染しないが、2 か月目からは感染を受ける可能性がある。

母親に水痘感染歴がある場合生後 6 か月までは軽症で済む場合が多い。

3. 症状は？

発疹は額の前髪にかくれた部分からはじまることが多い。発疹は水疱化し口の中や結膜などの粘膜で水疱ができることもまれではない。7 か月から 3 才まで、および 13 才以上で合併症のため重症化することがある。

4. 合併症は？

免疫が正常な場合に問題となるのは皮膚および呼吸器の 2 次感染であり、病原菌としては黄色ぶどう球菌、A 群 β 溶連菌が多い。HIV 患者もしくは免疫抑制剤を服用している場合、あるいは白血病の場合には重症化する。

健常児水痘の場合、細菌性 2 次感染は 1-4%、急性小脳失調は 1/4000 人（バランスをとれなくなりまっすぐ歩けない）、髄膜炎および脳炎は 1/40,000 人の割合である。